

委員会  
活動紹介

## 感染対策委員会

医療感染は、全ての医療環境に発生する感染です。これは患者様のみならず、医療従事者を含め、医療施設に出入りする全ての人に発生しうることです。そのため感染対策は、全ての人が協力し、適切な方法を統一して実施することが大きな力となります。

その大きな力を発揮するため、感染対策委員会は病院長直属で看護師、薬剤師、栄養士などによるチームとして組織的に感染管理に努めています。

活動内容は、感染関連のシステムやマニュアルの作成と見直し、統一した対策が実施されるよう研修会の開催、感染サーベイランスの実施などにより、感染状況のデータ収集、管理、分析を行い、現場へ発信し改善策を提案します。

最近では、コロナ感染症の5類移行に伴う様々な問題について、当院としてどのように対応していくべきか検討を重ねています。

患者様と医療従事者のすべての人が、安全に過ごすことができるよう、今後も努力していきます。



匿名希望

①職種 精神保健福祉士 ②病院に勤めて何年 11年目

広報誌「和」第25号のアンケートで、「長年、三州病院に勤めているスタッフの近況について知りたい」とのご意見をいただき、『Good Jobルール』と題し、今回で12回目の連載となりました。スタッフの私生活や仕事に対する思いや姿勢など皆様にお伝えできればと思います。

ルールといえる程のものではないですが、帰宅後の「1人反省会」がそうなのかなと思います。

大抵は入浴時に行く事が多く、「今日はこんな事があったな～、明日は〇〇をしないと、こんな事で笑ったな～」と1日を振り返る作業をします。入浴を終える頃には何となく頭が整理されて、気持ちも落ち着いてきます。良い事もそうでない事もあり、毎日スッキリ爽快となる訳ではありませんが、自分自身と向き合う時間を持つという事が1日のリセットと翌日からの良いスタートに繋がるのではないかと思います。コツとしては、反省し過ぎない事、最後は「でも、まあ、いいか」と思って終わる事です。

生きる事や日々の事に追われて、色々な事を見落としてしまいがちですが、助けてもらった事や嬉しかった事を忘れない為、自分の言動を自己点検する意味でも大切な時間になっています。

幸いな事に、働く仲間にもまれて毎日1回は心の底から笑える事に感謝して、少しでも気持ちよく仕事ができるよう続けていきたいです。





# 私のオススメの○○

私はもともと食べ物の中で、麺類が大好きなのですが、その中でここ数年蕎麦をよく食べるようになりました。蕎麦は栄養面でもルチンやビタミン、ミネラルを豊富に含んでおり、ヘルシーな食品であります。人から美味しいと聞いたり気になったお店には出来る限り足を運ぶようにしています。以前そば打ちにチャレンジしたことがありました。なかなか上手く出来ず、すぐにやめてしまったのですが、今年に入り再チャレンジしてみたくな



り押し入れに眠っていたそば打ちセットを引っ張り出し、時間がある時には黙々と打っています。とは言っても、やはり上手く出来ずボソボソしていたり、きれいに切れなかったりで、まだまだ人様に食して頂けるような物ではありませんが、今年の大晦日には、もう少しまともなお蕎麦をふるまえるようになって、年を越したいと思っています。

男子病棟 丸山

## レシピ紹介 「豚汁」



今回は当院の栄養部より、手軽に作れる栄養満点のレシピをご紹介します。

### 材 料 (1人分)

豚ばら肉(うす切) ……	20g
さつまいも ……	30g
人参 ……	10g
ごぼう ……	5g
豆もやし ……	10g
板こんにゃく ……	10g
にら ……	5g
生姜(おろし) ……	1g
サラダ油 ……	0.3g
麦味噌 ……	12g
だし ……	0.7g
水 ……	150cc

### 作 り 方

- ①具材は好みの大きさに切る。
- ②サラダ油を熱した鍋に豚ばら肉をいれて色が変わるまで炒める。
- ③豆もやし・にら・生姜・麦味噌以外の材料をいれ、柔らかくなるまで煮る。
- ④豆もやしをいれ火がとおるまで煮る。
- ⑤にら・生姜・麦味噌をいれてひと煮立ちさせる。

- ★生姜は好みで千切りにして最後に上から散らしてもよい
- ★肉と野菜は他のものでもよい
- ★具の量を増やしたり、それぞれの分量を増やすことで食べ応えのある一品に
- ★野菜の種類で味付けは味噌にせず、コンソメや中華味、クリームスープにしてもよい





関連施設紹介



社会福祉法人 **くすの木会**



社会福祉法人 くすの木会

特別養護  
老人ホーム

**くすの木グリーンハイツ**

特別養護老人ホームくすの木グリーンハイツは、平成4年7月に開苑し、今年の7月で32年目を迎えることができました。

“認知症のお年寄りのために”という理念のもと、当施設に入所しているお年寄りの皆様が“自由に、生き生きと、日々を送れますように”をモットーに、私たちスタッフ一同、常に入所者様やその家族の立場に立って“寄り添い”、“安心安全な環境”のもと、質の高い介護サービスの提供を目指しております。



**くすの木在宅介護支援センター（居宅介護支援事業所）**

在宅で要介護状態になっても、健康でその人らしく日々を過ごしていただくために、介護支援専門員（ケアマネージャー）が要介護者本人やご家族のご要望をお伺いして、要介護者本人に寄り添った適切なケアプラン（介護サービス計画）を作成いたします。

またケアプランにより選んで頂いたサービス事業所等への連携、連絡調整などもしっかりと行い、要介護者本人が在宅において自立した生活が過ごせるよう支援いたします。

その他、「介護保険のことやサービスについて知りたい」、「外出が難しく、閉じこもりがちでさみしい」、「家族だけでは、介護がたいへんになってきた」「長く暮らせる施設を探したい」などなど介護に関する相談は随時受け付けております。



社会福祉法人  
**くすの木会**

〒891-1205 鹿児島市犬迫町7771番地  
電話 099(238)0346  
ホームページ <https://www.kusunokikai.jp>



## 理念 基本行動指針

患者様を博愛の精神で受け入れ、  
分け隔てなく、寛容の心で接します。

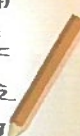
1. 患者様の人権に配慮し、  
最善の医療とより高い入院生活環境を  
提供します。
2. 精神科リハビリを促進し  
早期退院に努め、  
多くの方が地域で生活できるように努力し、  
その家族を含めて支援します。
3. 常に医療について研鑽を怠らず、  
医療人としての誇りと働き甲斐を持てる  
環境の創造に努めます。
4. 関係機関と連携し、医療を通じて  
地域への貢献に努め、地域と共に歩む  
病院作りを目指します。

## 患者様の権利について

患者様が安心して、  
より良い医療を受けられるように、  
患者様の権利を尊重します。

1. 個人としてその人格を尊重される権利
2. 医師から十分な説明を受け、治療を受ける権利
3. 通信・面会の権利
4. 公平で差別をされない医療を受ける権利
5. 処遇等の不服を申し立てる権利
6. 医療上及び個人の秘密を守られる権利


編集後記



皆様の御協力により今回も第38号「和」が出来上がりました。  
早いもので今年も残りわずかになってしまいました。月日が経つのも早いものです。新型コロナも消滅することはなくまだまだ続きそうですので、身体には気をつけてお過ごし下さい。今後も広報誌「和」を宜しくお願いします。

(広報担当 西村)

ホームページアドレス <https://www.sansyu-hp.jp/>  
☆ホームページでも広報誌がご覧いただけます。



### 交通ご案内 鹿児島交通バス



鹿児島(金生町)のりばから犬迫経由伊集院線にご乗車いただき、  
三州病院前バス停でご降車ください。



ご案内図



## 医療法人 共助会 三州病院

〒891-1205  
鹿児島市犬迫町7783番地1  
TEL/099(238)0075  
FAX/099(238)0079

診療科目 精神科・内科・心療内科  
<https://www.sansyu-hp.jp/>



↑QRコードより  
モバイルサイトへ

診療時間 午前 9:00～12:00 (受付 8:30～11:00) 午後 13:30～17:00 (受付 13:30～16:00)

休診日 土曜日午後・日曜日・祝日

施設概要 病床数 198床  
病棟 精神病棟 95床  
精神療養病棟 55床  
認知症治療病棟 48床  
業務内容 ●精神療法 ●精神科作業療法  
●精神科 テイクケア・テイクナイトケア・ショートケア  
●精神科訪問看護 ●もの忘れ外来  
●おとなの発達外来 他